

【活動報告】オリンピック・パラリンピック ボランティア・セミナーを実施しました

「オリンピック・パラリンピック ボランティア・セミナー」を実施しました。

2018年9月18日(火)～20日(木)、研究講義棟 114 教室において「オリンピック・パラリンピック ボランティア・セミナー」(主催:本学 社会連携マネジメント・オフィス、ボランティア活動スペース VOLAS)が開催されました。

このセミナーは2020年の東京大会に向け、ボランティアとして活動する際に必要となる知識、技能、マナーなどを身につけるとともに、参加者一人ひとりが自分自身にとってのボランティア活動の意味について考えることをねらいとして行われました。

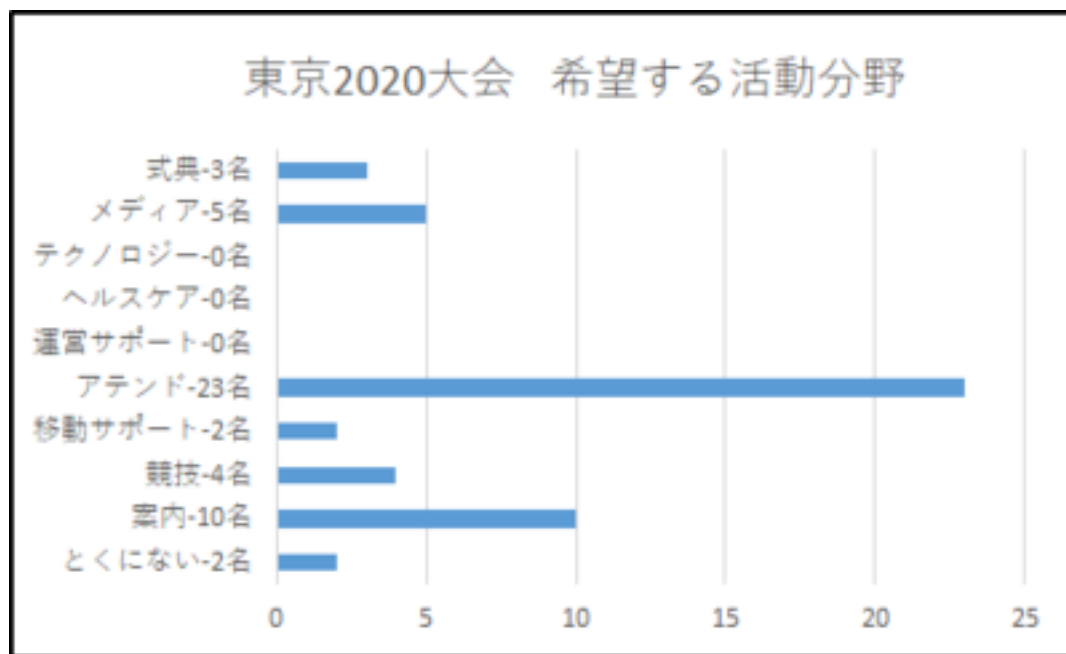
3日間にわたって、「言語サポート」「ユニバーサル・マナー」(身体障害者の介助の仕方など)「コミュニケーション・スキル」「リスク管理」「パラスポーツの魅力」など、さまざまなテーマで講演やワークショップが行われました。また、谷中美渚さん(国際社会学部中央ヨーロッパ地域2年)、山本佳織さん(国際社会学部西南ヨーロッパ地域4年)は、平昌オリンピックにボランティアとして参加した体験を報告してくれました。

セミナーの参加者からは、「オリンピックはスポーツを行うものだけでなく、社会をより良く変える力があるという新しい視点を学んだ」「ボランティアについて生き活きと意見を述べている他の参加者の方々を見ていて、私もこのような人たちと一緒に活動してみたい、課題を解決してみたいと感じるようになった」「オリンピックやボランティアに対する批判を知って迷いが生じていたが、そういったものを超えたところにある意義に気づくことができた」などの感想が聞かれました。

また、ゲスト講師の一人、長野・トリノ・パラリンピックの日本代表で、現在は障害児のスポーツイベント等に精力的に取り組んでいる野島 弘さんに出会い、そのお話と“人間力”に感銘を受けた人も多かったようです。

主催者としては、今回のセミナーが、オリンピック・パラリンピックのボランティアだけでなく、皆さんが社会に対し、新しい一歩を踏み出すひとつのきっかけになればと願っています。

参加者アンケートの集計結果は、[こちら](#)よりご覧ください。



<セミナー参加者のアンケートより>



日時: 2018 年 10 月 17 日